

ひこうせん

第25号

2021.2.10



新型コロナウイルス

新しい生活様式を考えよう



新型コロナウイルス感染症の蔓延で、日々の暮らしや社会生活は大きく変わりました。男女共同参画の視点から見てみましょう。

テレワークの普及

テレワークが普及し、家族との時間が増えたり、子育てや介護をしながら仕事を続けることができるようになりました。半面、子どもが気がかりで仕事に集中できない、まとまった作業時間を確保できないといったことがあります。また、テレワークできる仕事とできない仕事があることもわかってきました。

偏見や差別はしない

感染者やその家族、医療従事者などに対する誹謗中傷が広がっています。感染の不安や恐怖から誰かを傷つけてしまうのも、偏見や差別から誰かを守ることができるのも私たちです。



家庭内の役割分担の変化の中で

外出自粛や学校が休校する中で、家族のうち一人に家事・育児や介護などの負担が集まりませんでしたか。それらを一人で担うのは大きな負担です。ストレスや心身の不調につながることもあります。日ごろからお互いを思いやり、夫婦や家族で役割を分担することが大切です。

雇用情勢の悪化が進行

総務省が発表した令和2年8月の労働力調査によると、非正規の職員・従業者数は前年同月比で120万人減となり、男性36万人減、女性84万人減でした。ちなみに、女性84万人のうち、子育て世代35～44歳が24万人と世代の中で最も多いという結果が出ています。

内閣府が令和2年5月下旬～6月初旬に実施した調査では、以下のような結果も出ています。

- 感染症影響下において、家族の重要性をより意識したり、地方移住への関心が高まる等、意識の変化がみられる。
- 就業者の3人に1人がテレワークを経験したが、さらなる利用拡大には、仕事の仕方の見直しなどが課題。
- 子育て世帯の約7割で家族と過ごす時間が増加。夫婦間の家事・育児の役割分担を工夫する動きがみられる。

内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」より抜粋

狭山市男女共同参画審議会 齋藤正子会長よりひとこと

冬期に入り、さらに新型コロナ感染症が蔓延し、新しい生活様式を取り入れながらも、先の見えない不安があるのではないのでしょうか。女性が仕事と家事、育児などすべてをこなす女性のロールモデル（模範となる人物像）には、限界があります。そこで今こそ、これまでの生活を振り返り、自らも含めた家族の役割や友人・知人との関係性、働き方などについて見つめ直すチャンスの到来だと思います。

新型コロナ禍ではお互いを思いあう生活しやすい「男女共同参画」の推進が必要です。

コロナ禍の中で、人と会うことが難しくなっています。未知な状況で、不安やストレスからくるDV（ドメスティック・バイオレンス）の増加、深刻化が懸念されています。人が安心して生きていくためには、誰かとのつながりを実感することが大切です。

DVに悩んでいる方は、ひとりで悩まず相談してください。相談できる場所があります。（4ページ参照）

男女共同参画に関する市民意識調査結果(抜粋)

狭山市は、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現」を目指して、令和4年度より第5次狭山市男女共同参画プランがスタートします。このプラン策定に向けて、今年度は市民意識調査を実施しました。ここでは調査結果のうち、前回の平成27年度調査との違いが比較的表れている4項目について紹介いたします。

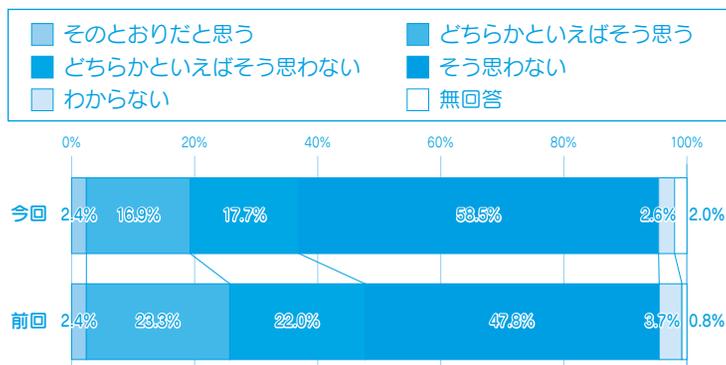
なお、本調査の概要及び回答状況については、右表のとおりです。また、全体の内容については、令和3年4月以降に市のホームページ等に掲載する予定ですのでご覧ください。

〈調査概要〉	
1. 調査対象	市内在住の満18歳以上の男女2,000人
2. 抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出
3. 調査方法	郵送による配布・回収
4. 調査期間	令和2年9月1日～9月30日
〈回答状況〉	
1. 回収率	発送2,000件 回収1,050件 回収率52.5%
2. 性別	男性45.1% 女性53.9% 無回答1.0%

1 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

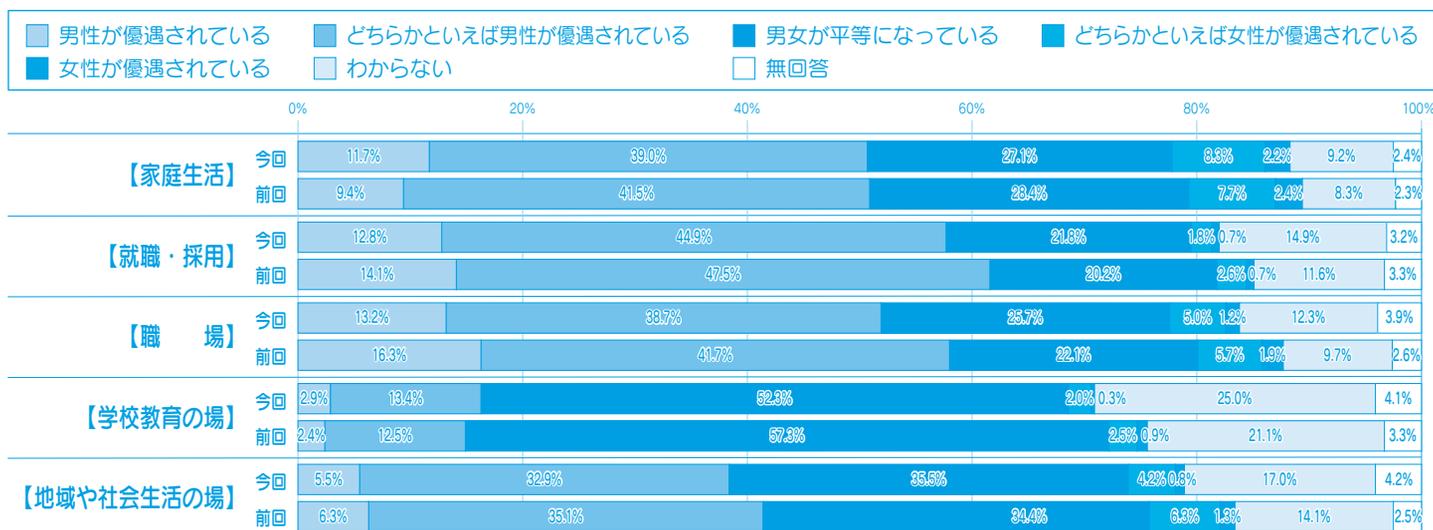
問 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか？（回答は1つ）

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「そう思わない」が58.5%と最も多く、「どちらかといえばそう思わない」（17.7%）と合わせると7割以上の方がそう思わないと考えています。前回調査と比較すると、「そのとおりだと思う」は変化ありませんが、「そう思わない」は10.7ポイント増加しています。また、「どちらかといえばそう思う」は6.4ポイント減少しています。



2 男女の地位の平等感について

問 あなたは現在、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか？（回答は1つ）

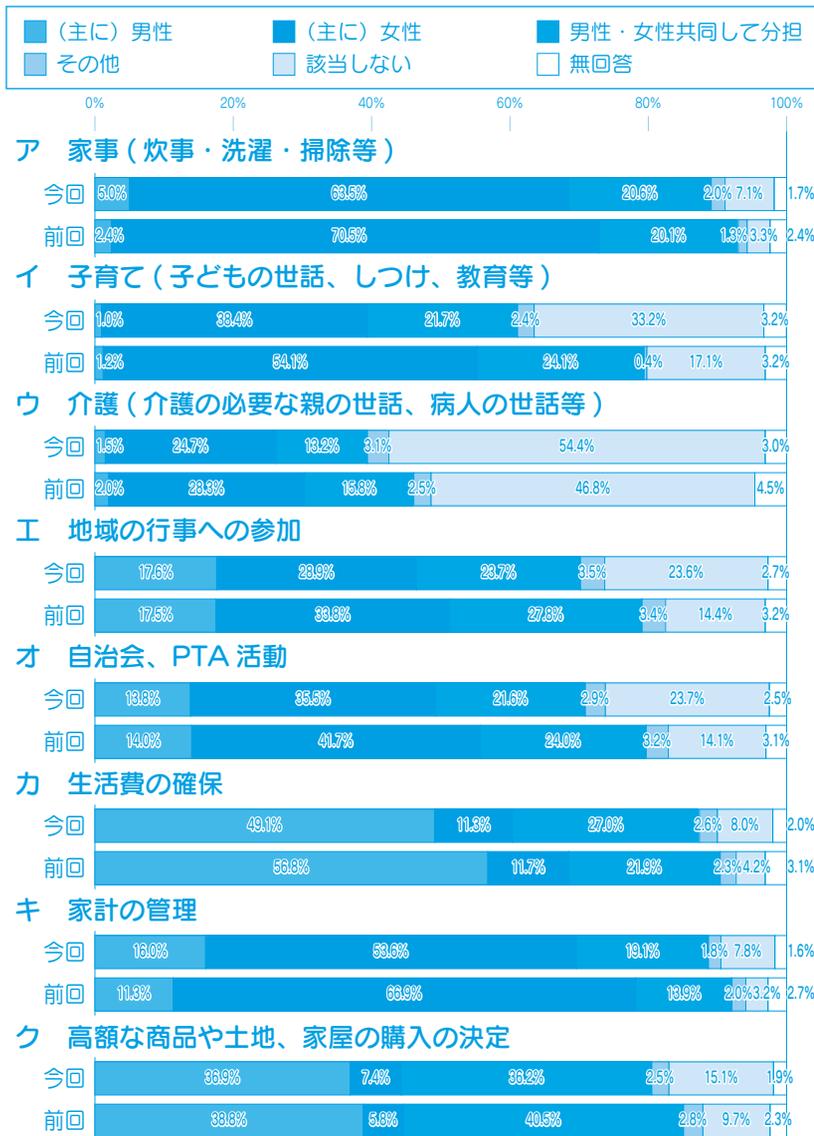


男女の地位の平等感について、「男女が平等になっている」と回答した割合が最も高かったのは「学校教育の場」(52.3%)でした。前回調査と比較すると、「就職・採用」と「職場」では、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」と回答した割合の合計がそれぞれ3.9ポイント、6.1ポイント減少していますが、さらなる男女共同参画を推進していく必要があります。

3

家庭生活・子育てについて

問 あなたの家庭では、主にどなたが中心となって行っていますか？（回答は1つ）



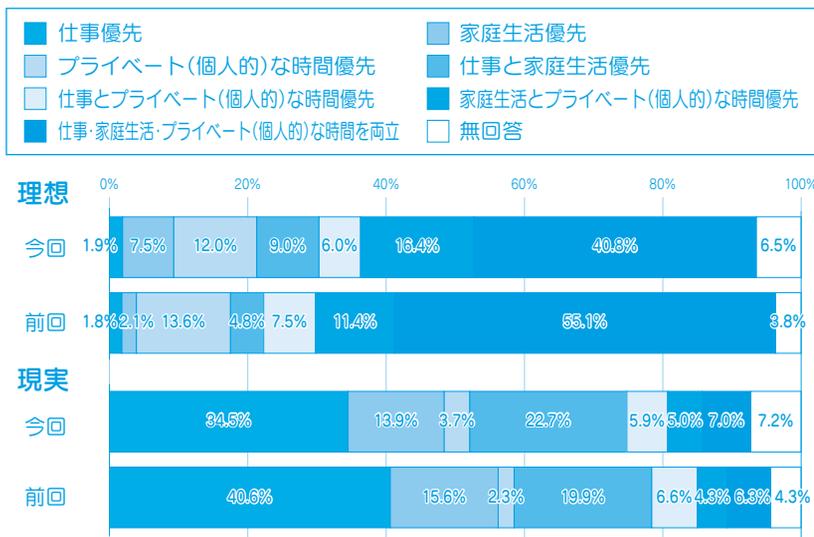
家庭生活や子育てについて、主に担当している性別をたずねたところ、「生活費の確保」と「高額な商品や土地、家屋の購入の決定」は、「(主に)男性」の割合が高く、他の項目は全て「(主に)女性」の割合が高くなっています。前回調査と比較すると、ほとんどの項目で「(主に)女性」が減少し、特に、「子育て」では、「(主に)女性」が15.7ポイント減少しました。また、「生活費の確保」では、「(主に)男性」が7.7ポイント減少し、「男性・女性共同して分担」が5.1ポイント増加しています。



4

生活の中での優先度について

問 生活の中での優先度で、「理想」としての優先度と「現実」の優先度について、あなたのお考えや現状に最も近いものはどれですか？（回答は1つ）



「理想」では、「仕事・家庭生活・プライベート(個人的)な時間を両立」が最も多いものの、「現実」では、「仕事優先」が最も多くなっています。前回調査と比較すると、「理想」では、「仕事・家庭生活・プライベート(個人的)な時間を両立」が14.3ポイントと大きく減少しており、「家庭生活とプライベート(個人的)な時間優先」が5.0ポイント増加しています。「現実」では、「仕事優先」が6.1ポイント減少し、「仕事と家庭生活優先」が2.8ポイント増加していることから、仕事と家庭生活の両立を目指す傾向が見られます。

お知らせ

相談窓口		
一般相談	狭山市役所市民相談室 04-2953-1111 内線1140	月～金曜 9:00～16:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)
女性生活相談(要予約)	狭山市役所市民相談室 04-2953-1111 内線1140	第1金曜・第3火曜・第4火曜 10:00～15:00
生き方・家族・夫婦・DV 人間関係などの相談	埼玉県配偶者暴力相談支援センター (埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま) 048-600-3800 (相談専用)	月～土曜 10:00～20:30 (日曜・祝日・第3木曜日・年末年始を除く)
男性のための電話相談	埼玉県配偶者暴力相談支援センター (埼玉県男女共同参画推進センター With You さいたま) 048-601-2175 (相談専用)	毎月第3日曜 11:00～15:00
ドメスティック・バイオレンス (DV)に関する電話相談	埼玉県配偶者暴力相談支援センター (埼玉県婦人相談センター) 048-863-6060 (相談専用)	月～土曜 9:30～20:30 日・祝日 9:30～17:00 (年末年始を除く)
チャレンジ& お仕事相談・お仕事紹介	埼玉県女性キャリアセンター 048-601-5810	月～土曜 9:30～17:30 (日曜・祝日・第3木曜日・年末年始を除く)
生活困窮者自立支援相談	くらし・しごと支援センターさやま 04-2956-7669	月～金曜 8:30～17:00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

配偶者やパートナーからの暴力で悩んでいませんか？

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、様々な生活不安やストレスから、配偶者やパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス＝DV）の増加や深刻化が懸念されています。

DVは、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害であり、身体的暴力・精神的暴力・性的暴力など様々な形態があります。ひとりで悩まず、困ったときには相談してください。

DV早期発見チェックリスト

- | | | |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 殴る、蹴る、刃物などを突き付けて脅す | <input type="checkbox"/> 交友関係や電話を細かく監視する | <input type="checkbox"/> 外で働くことを禁ずる |
| <input type="checkbox"/> 大声で怒鳴る | <input type="checkbox"/> 生活費を渡さない | <input type="checkbox"/> 望まない性的な行為を強要する |
| | <input type="checkbox"/> 「だれのおかげで生活できるんだ」などの暴言を言う | <input type="checkbox"/> 避妊に協力しない |
| | | <input type="checkbox"/> 何を言っても無視をする |

内閣府 DV相談+(プラス)

ホームページ <https://soudanplus.jp>

☎ 0120-279-889 電話・メール 24時間受付

チャット相談 12時～22時

スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください。



- 専門の相談員が対応
- 面談、同行支援などの直接支援も実施
- 安全な居場所も提供
- 24時間電話対応
- 10か国語対応

男女共同参画センターをご利用ください

男女共同参画センターは、狭山市駅西口にある狭山市市民交流センター2階にあります。

センター内の情報コーナーでは、男女共同参画に関する図書やDVDの貸出などの他、内閣府や埼玉県、県内の男女共同参画関連の行政資料があります。

こども向けの図書もあります。ぜひご利用ください。

図書・DVDの貸出、行政資料の閲覧

● 図書・DVD等の貸出は、1回につき3点以内（組み合わせ自由）で、貸出期間は15日以内です。

● 情報コーナー利用時間

8時30分から22時まで（年末年始を除く）

※土曜日・日曜日・祝日と平日の17時15分から22時は、市民交流センター2階の総合案内で貸出及び返却ができます。

編集後記

- 調査結果は、男女平等進行は学校教育の場、他は偏りありでした。
- コロナ後、皆が住みやすい世界になりますように。
- コロナの早期終息を祈りながら編集に参加しました。
- コロナにより男女共同参画意識が想定外の進展か。
- コロナの影響で、皆さんの生活はどのように変わりましたか。

(木下)
(金野)
(中村)
(西宮)
(事務局)

市民編集委員 木下修 / 金野久江 / 中村真理子 / 西宮努
発行 狭山市市民部市民文化課男女共同参画センター
〒350-1305 狭山市入間川1-3-1
TEL 04-2937-3617
FAX 04-2937-3616 (代表)
E-mail: danjyo@city.sayama.saitama.jp